

所在地：熊本県玉名市

面積：施設ミニトマト 3.2ha

認証：GLOBALG. A. P. (H27 ミニトマト)

構成員：常勤 28 名(うちパート 22 名)

応募区分：個別経営の部

栽培品目：ミニトマト、米、麦

取組の紹介

【GAP に取り組んだきっかけ】

- 熊本県が主催する農業経営塾で GAP を知り、自社の経営が改善され強みになると考え、平成 27 年、ミニトマトで GLOBALG. A. P. 認証を取得。

【GAP の継続に向けた取組】

- 子育て中のパート従業員が働きやすくなるよう、出退勤時間の自由化等、柔軟な勤務体制を構築。
- 規模拡大による労働量の増加に対応していく中で、日頃からパート従業員とコミュニケーションを図り、意見や要望を聞き取り。パートマネージャー等のポストを用意し、作業計画の作成等、経営に積極的に参加してもらうとともに、待遇を改善。従業員と話し合い、通年雇用できる作型を独自に構築し、規模拡大に伴いパート従業員を 1 名から 22 名に増やす間の離職者はわずか 3 名と高い定着率を実現するとともに、同程度の規模の経営に比較し 1 割程度少ない従業員での農作業を実現。
- 全ての栽培履歴の記帳をアプリで行うことで記帳負担を軽減。作業の進捗や年間スケジュールは SNS を通じて全従業員で情報共有。
- ハウス（面積計 3.2ha、103 棟）のほ場が県下の 9 箇所に分散しており、全ての箇所で手洗い設備付きトイレを常設。



アプリでの記帳、情報の共有



県下9箇所のほ場に
清潔なトイレを設置

【GAP 認証農産物の生産拡大に向けた取組と効果】

- GAP 認証取得後の 6 年間で、備品、消耗品の在庫管理、機械のメンテナンス等を計画的に行うとともに、IPM を推進し、殺虫剤使用量を県慣行比 8 割減、殺菌剤使用量を県慣行比 2 割減。
- GAP 認証取得時は収穫量が 33t/年であったが、GAP 認証農産物であることを売りに販路を拡大し、認証取得後 6 年間で 199t/年まで収穫量を拡大。

【地域への波及】

- 自社生産のミニトマトのほか、地域でミニトマトを生産する農業者 8 戸の出荷も行い、8 戸に対して GAP 認証の取得に向けた指導を実施。



地域の農業者に向けた
GAP 講演会